

令和元年度
(2019年度)

都市整備部の運営方針

<部の構成>

都市計画課、景観住宅整備課、連続立体交差推進室（連立事業推進担当、周辺整備担当）、施設整備室（重点施設建設担当、施設整備担当）、開発指導室（開発調整課、開発審査課、建築安全課）

<担当事務>

- (1) 都市政策に関すること。
- (2) 景観に関すること。
- (3) 空家等の利活用に関すること。
- (4) 市街地再開発事業、土地区画整理事業等に関すること。
- (5) 京阪本線連続立体交差事業及び関連するまちづくりに関すること。
- (6) 市有建築物（学校園施設を除く。）の新設・改良等の設計・施行に関すること。
- (7) 開発事業等に係る協議及び指導に関すること。
- (8) 開発許可及び建築確認の審査に関すること。
- (9) 建築物の維持管理、防災等の指導に関すること。

<部の職員数>H31年4月1日現在

正職員	102名
再任用職員	8名
任期付職員	-名
非常勤職員	6名
合計	116名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

都市整備部では、少子高齢化、人口減少が進展するなか、あらゆる世代の人が暮らしやすく、持続可能な都市構造を実現するため、都市計画マスタープランと立地適正化計画に基づく計画的な都市づくりを進めています。

令和元年度（2019年度）は、人が集まるまちづくりとして、本市の広域中心拠点である枚方市駅周辺の賑わいの創出と魅力向上をめざし、枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業等の都市計画手続きや、昨年度に着手した枚方市総合文化芸術センターの建設工事を進めます。

また、公共施設の計画的な整備・保全として、新たな香里ヶ丘図書館の建設工事を進めていくとともに、市有建築物保全計画に基づく改修・更新工事などに取り組みます。

枚方市駅以南の都市交通の円滑化と市街地の一体化を図る京阪本線連続立体交差事業を推進するとともに、光善寺駅西地区の市街地再開発事業による新たなまちづくりに取り組みます。

空家等対策計画に基づき、情報提供や相談等の支援による空き家の有効活用に加え、管理不良により保安上危険と考えられる空き家については、所有者への助言・指導など状況に応じた対応を行っていきます。また、UR都市機構や関係機関と連携するなど、子育て世代をはじめとする定住促進や転入につながる取り組みを行います。

安全・安心で快適に暮らせる都市づくりを進めるため、住宅・建築物の耐震化や、危険ブロック塀等の安全対策の促進に取り組むとともに、開発行為や建築行為などの規制・誘導を行い良好なまちの形成をめざします。

2. 重点施策・事業

(1) 枚方市総合文化芸術センターの整備をはじめとする公共建築物の整備・保全

<p>方向性</p>	<p>令和2年度（2020年度）内の完成をめざして枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、公共施設の計画的な整備・保全に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">～枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～</p> 
<p>取り組み</p>	<p>本市の広域中心拠点である枚方市駅周辺の再整備の起点となる枚方市総合文化芸術センターについては、平成30年度から建設工事に着手しており、令和2年度（2020年度）内の完成をめざします。</p> <p>また、香里ヶ丘図書館の建設工事に着手し、隣接する香里ヶ丘中央公園と一体的に整備を進め、令和2年度（2020年度）内のオープンをめざします。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p> <p>平成31年度当初予算：2,467,340千円【枚方市総合文化芸術センター整備】 1,538,891千円【公共建築物の整備・保全】</p>

(2) 京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業

<p>方向性</p>	<p>令和10年度（2028年度）の完成をめざして京阪本線連続立体交差推進事業に取り組めます。あわせて、光善寺駅周辺については、今年度設立予定の光善寺駅西地区市街地再開発組合とともに新たなまちづくりを進めます。</p> <p style="text-align: right;">～光善寺駅西地区市街地再開発事業のイメージ～</p> 
<p>取り組み</p>	<p>鉄道高架工事の早期着手に向け、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めるとともに、今年度においては文化財調査や地下埋設物調査等の準備作業を進めます。また、設立予定の組合に対して、市街地再開発事業の専門的ノウハウを有する事業協力者等と事業の進捗を図るとともに財政的・技術的支援を行います。</p> <p>平成31年度当初予算：3,617,144千円【京阪本線連続立体交差事業経費】 158,603千円【連続立体交差事業関連まちづくり事業経費】</p>

(3) 定住促進につながる住宅施策の推進（三世代家族・定住促進事業）

<p>方向性</p>	<p>市外在住の子育て世帯及び若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居または近居するために住宅を取得またはリフォームすることに対して補助することで、若年世代の転入及び安心して市内定住できる環境整備を図ります。</p>
------------	---

取り組み	<p>同居または近居するための住宅取得費用や同居のための持ち家のリフォーム費用に対して補助を行います。さらに、今年度中を目標に補助内容の精査や関連する他の補助制度との整合を図り、子育て世代の誘導及び定住促進につながる補助制度のあり方について、関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>また、本市と包括連携協定を締結している UR 都市機構が「UR 賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」を昨年 12 月に策定されたこともあり、香里ヶ丘地域における子育て世代を呼び込む取り組みの更なる推進に向けて、引き続き関係機関との協議・調整を進めます。</p>
	<p>《目標値》</p> <p>令和元年度（2019年度）目標値（平成28年度設定）</p> <p>三世代家族・定住促進事業による補助件数（累計）125件</p> <p>（実績）平成29年度に61件、平成30年度に 56件で計117件</p> <p>（予定）令和元年度（2019年度）に50件予定</p> <p>平成 31 年度当初予算：15,000 千円【三世代家族・定住促進事業費】</p>

（４）空き家・空き地対策推進事業	
方向性	<p>空家等対策計画に基づき、情報提供や相談等の支援による空き家の有効活用の促進を図ります。</p>
取り組み	<p>空き家・空き地の活用については、所有者と市民団体とのマッチング、所有者や利用希望者への情報提供、空き家セミナー及び相談会の開催により支援を行います。加えて、移住・住みかえ支援機構（JTI）が実施している「マイホーム借上げ制度」の周知・普及を行い、高齢者の持ち家を子育て世代等への賃貸に供給することで、市内転入など定住促進を図るとともに、空き家の発生防止に向けた取り組みを進めます。</p> <p>その他、空き家に係る補助制度の新設に向け、他の補助制度との整合を図り、関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>専門家団体と連携したセミナー・相談会開催 3回（平成30年度実績2回）</p> <p>平成 31 年度当初予算：200 千円【空き家・空き地対策推進事業費】</p>

（５）住宅・建築物耐震化促進事業	
方向性	<p>大地震による被害の軽減を図り、市民の生命と財産を守るため、住宅・建築物の耐震化及び危険ブロック塀等の安全対策を促進します。</p>

取り組み	<p>住宅・建築物については「木造住宅耐震改修補助制度」等を活用し耐震改修の促進を図ります。加えて、危険ブロック塀等については、新たに創設した「危険ブロック塀等除却補助制度」の周知啓発を行い、道路等に面する危険ブロック塀等の除却を促進します。</p> <p>また、これまでに実施した耐震化啓発の取り組み実績を検証し、計画的かつ効果的な取り組みを進めます。</p>											
	<p>《目標値》</p> <table border="0"> <tr> <td>木造住宅耐震診断補助件数</td> <td>100 件</td> </tr> <tr> <td>大規模建築物等耐震診断補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修設計補助件数</td> <td>50 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修工事補助件数</td> <td>60 件</td> </tr> <tr> <td>住宅除却工事補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>危険ブロック塀等除却補助件数</td> <td>51 件</td> </tr> </table> <p>平成 31 年度当初予算：69,718 千円【住宅・建築物耐震化促進事業経費】</p>	木造住宅耐震診断補助件数	100 件	大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件	木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件	木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件	住宅除却工事補助件数	3 件	危険ブロック塀等除却補助件数
木造住宅耐震診断補助件数	100 件											
大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件											
木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件											
木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件											
住宅除却工事補助件数	3 件											
危険ブロック塀等除却補助件数	51 件											

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	枚方市街地開発株式会社において、「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に基づき、引き続き会社の民営化に向けた取り組みを進めます。
29. 市有建築物の効率的・効果的な改修・更新工事	「輝きプラザきらら」及び「中央図書館」において、民間活力を活用した ESCO 事業により、老朽化した空調設備の更新や LED 照明への取り替えを効率的に実施するとともに、省エネルギー化に努めます。今後も市有建築物の改修・更新にあたっては、工事内容などの精査を行いながら効率的・効果的な工事の実施に努めます。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
ワークプレイスの取り組み	部内会議等においてペーパーレス会議を積極的に活用し、紙の使用量の抑制と効率的な業務処理を図ります。また、窓口対応業務の改善を図るため、宅地建物取引時の重要事項説明書に関する調査方法や所管部署をまとめたリーフレットを作成します。
ワークライフバランスの推進	ワークライフバランスを推進するため、効率的な事務執行を図り、時間外勤務の縮小に努めます。

4. 予算編成・執行

- ◆事業の実施にあたっては、可能な限り国の交付金等を活用し、財政負担の軽減に努めます。
- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得を迅速かつ円滑に進めるため、令和元年度（2019年度）の用地取得業務を引き続き民間機関を活用しながら進めます。また、光善寺駅西地区市街地再開発事業については、社会資本整備総合交付金の制度を活用して組合の活動を支援します。
- ◆公共施設の整備・保全にあたっては、ファシリティマネジメントの視点をもって品質の向上とコスト低減に取り組み、効果的な予算執行に努めます。
- ◆国や大阪府の補助制度を活用し、市内の木造住宅の耐震化及び危険ブロック塀等の安全対策を促進します。

5. 組織運営・人材育成

- ◆新たに配属された職員を対象に新任研修を行い、組織の業務内容の理解及び職員の資質向上に努めます。
- ◆定期的な部内会議等により、部の組織目標や懸案事項について共有化を図りながら効率的な事業推進を図ります。
- ◆組織の目標達成と業務の円滑な遂行には職員の専門知識と経験が必要となることから、研修や講習会等に積極的に参加し、担当職員の資質向上に努めるとともに、成果の共有化を図り、行政ニーズに的確に対応できる人材の育成に取り組みます。
- ◆災害時における二次的災害を未然に防止するため、建築物や宅地の安全確認を行う判定士や被災建築物応急危険度判定コーディネーターの資格取得者の増員を図ります。

6. 広報・情報発信

- ◆人が集まる都市づくりを進めるための都市政策に関し、その取り組み状況を市民と共有できるよう情報発信に努めます。
- ◆特に、都市計画に係る説明会や都市計画手続き、よりよい景観形成をめざすための屋外広告物の規制等に関する取り組み、安全・安心なまちづくりを進めるための耐震化の必要性や補助制度など、きめ細やかな情報発信を行います。
- ◆市民や枚方市の職員を志す学生などに、都市整備部の業務内容を広く知っていただくため、リーフレットを作成するとともに、ホームページにも掲載します。
- ◆宅地建物取引に関する重要事項説明書に関する調査方法や所管部署をまとめたリーフレットを作成するとともに、ホームページにも掲載し、市民や事業者の方に情報提供します。
- ◆枚方市総合文化芸術センター等の整備状況について、適宜ホームページに掲載し、市民の皆様にご覧いただき、工事の進捗をお知らせします。